



成果指標				
成果指標	水防訓練参加率<消防団、自主防災会、市職員>			
指標設定の考え方	水防に関する意識高揚と水防活動に必要な技術の習得の度合いを測定する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100	100	100	0
実績	100	100	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今年度双海地域で実施した伊予市水防工法訓練については、今回も消防団・自主防災組織・市職員が参加し、ロープワークや土のう作成、水防工法の実施を行い、水防に関する意識高揚と基礎的な水防技術の習得をすることができた。 今後も継続して当訓練を実施していくと共に、広く住民参加を呼びかけて行く必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	団体、住民に水防工法訓練や実技講習への積極的な参加を呼びかけ、効果的な活動ができるよう取り組む必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題